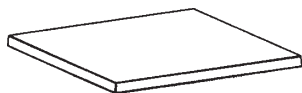


取扱説明書

住宅用照明器具（ナロービームライト）

保管用

施工説明付き



品番 LGB50125LB1

お客様へ

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
この取扱説明書は大切に保管してください。
施工には電気工事士の資格が必要です。必ず、販売店、工事店に依頼してください。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や
損害の程度を区分して、説明しています。

■お守りいただく内容を、次の図記号で
説明しています。（下記は図記号の一例です。）



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある
内容」です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が
発生するおそれがある内容」です。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告

- 異常を感じた場合、速やかに電源を切る
異常状態が収まったことを確認し、販売店
または別紙お客様ご相談窓口にご相談ください。



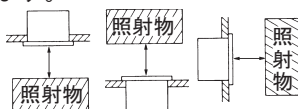
分解禁止

- 器具を改造したり、部品交換をしない
火災、感電、落下によるけがのおそれ
があります。



必ず守る

- 照射物近接限度内にドア開閉範囲や家具
などの可燃物が近づかないように注意する
守らないと、照射物の変色、
火災のおそれがあります。照射物近接限度 10 cm



（ドア・家具・布などの可燃物）



禁止

- アルカリ系洗剤は使用しない
強度低下により破損し、落下するおそれ
があります。
- 踏み付けたり、物をのせたりしない
火災、破損によるけがのおそれ
があります。
- LEDユニットセットを取り外して
点灯させない
火災、やけどのおそれがあります。



注意

- 照明器具には寿命があります。
設置して 10 年経つと、外観に異常が
なくても内部の劣化は進行しています。
点検・交換してください。



禁止

点検せずに長期間使い続けると
まれに火災、感電、落下などに
至る場合があります。

- ◎ 1 年に 1 回は別紙安全チェックシート
に基づき自主点検してください。

- お手入れの際は電源を切る
通電状態で行うと、感電の原因となる
ことがあります。

- 器具の取り外しは販売店、工事店に
依頼する
器具の取り外しには資格が必要です。

- 温度の高くなるものを器具の真下に置かない
火災の原因となることがあります。

◎器具の真下にストーブなどを置かないでください。

- LEDを直視しない
目の痛みの原因となることがあります。

- 器具配線やコネクタを過度な力で
引っ張らない
充電部露出による感電の原因となることが
あります。

施工説明

安全上のご注意

必ずお守りください

⚠ 危険

■断熱材・防音材をかぶせた状態で使用しない

火災のおそれがあります。

- ・住宅の断熱施工天井、壁には使用できません。



⚠ 警告

■天井



禁止

●次のような場所には取り付けない

火災、落下によるけが、天井材破損のおそれがあります。

- ・床面
- ・傾斜した天井面、壁面
- ・強度のない薄い天井面、壁面
- ・水のかかるおそれのある場所
- ・振動の多い場所

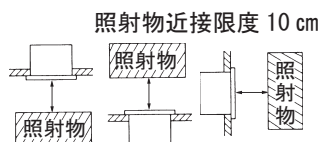
◎この器具は天井面、壁面埋め込み専用です。

●照射物近接限度内にドア開閉範囲や家具などの可燃物が近づかないように考慮して取り付ける

守らないと、照射物の変色、火災のおそれがあります。



必ず守る



(ドア・家具・布などの可燃物)

●本体を埋込穴に確実に押し込む

押し込みが不十分な場合、ガタツキ、器具落下のおそれがあります。

■壁スイッチ

●調光器は当社製適合ライトコントロールを使用する

指定以外のライトコントロールと組み合わせて使用すると、火災のおそれがあります。

- ◎ライトコントロールの注意事項についてはライトコントロールの説明書をご確認ください。
当社製適合ライトコントロール
・ライトコントロール（起動方式L B対応用）



必ず守る

■その他

●器具の取り付けは、説明書に従い確実に行う

取り付けに不備があると、火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

●交流 100 ボルトで使用する

過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。



必ず守る

●電源線は端子台の差込穴の奥まで確実に差し込む

差し込みが不完全な場合、火災、感電のおそれがあります。



禁止

●屋内配線の電源、ケーブルなどは器具に接触させない

火災のおそれがあります。

⚠ 注意

●ロックウールなどのやわらかい天井に取り付ける場合は、必ず取付金具と天井の間に補強材（鉄板、木片など）を入れる

補強材なしの場合、落下の原因となることがあります。



必ず守る

◎石こうボード（9mm）は、補強材なしで取り付けできます。

●器具の取り付け取り外しは手袋など保護具を使用する

けがのおそれがあります。



水ぬれ禁止

●浴室など湿気の多い場所や屋外で使用しない

火災、感電の原因となることがあります。

◎この器具は防湿、防雨型ではありません。



禁止

●温度の高くなるものの上に取り付けない

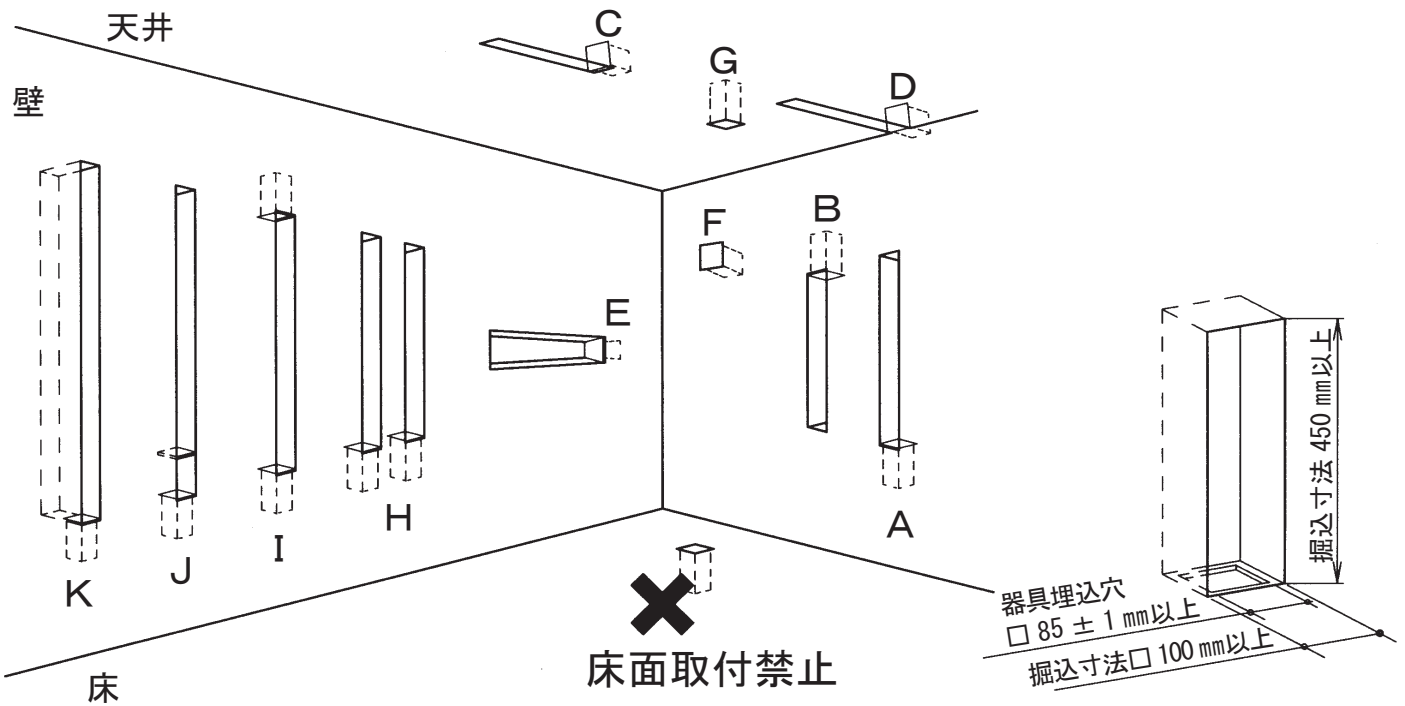
火災の原因となることがあります。

◎レンジなど温度の高くなるものの上に取り付けしないでください。

●器具取り付け方向により施工条件が異なります。器具取り付け前にご確認ください。

取付状態

掘込寸法

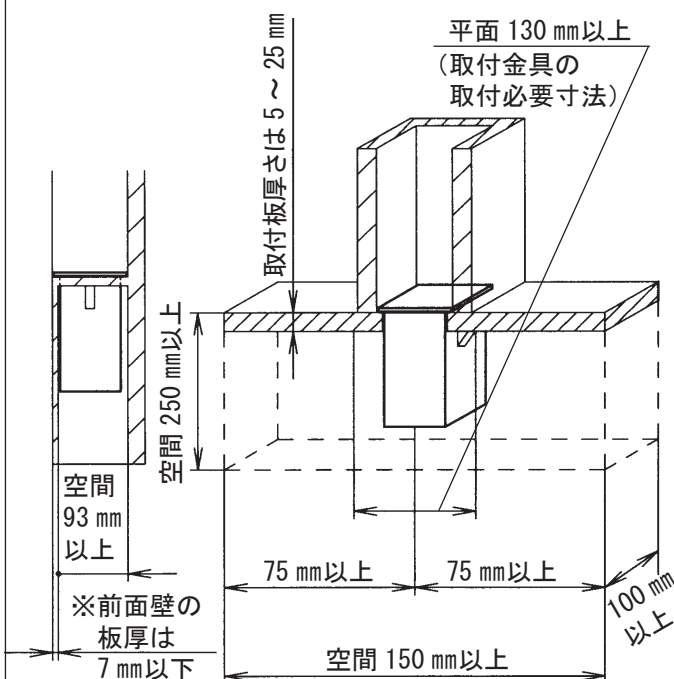


施工条件

●掘込寸法□ 100 mmの場合での寸法設定です。□ 100 mmを超える場合は※ 寸法が異なりますのでP 5を参照ください。
注) 空間には断熱材等を設置しないでください。

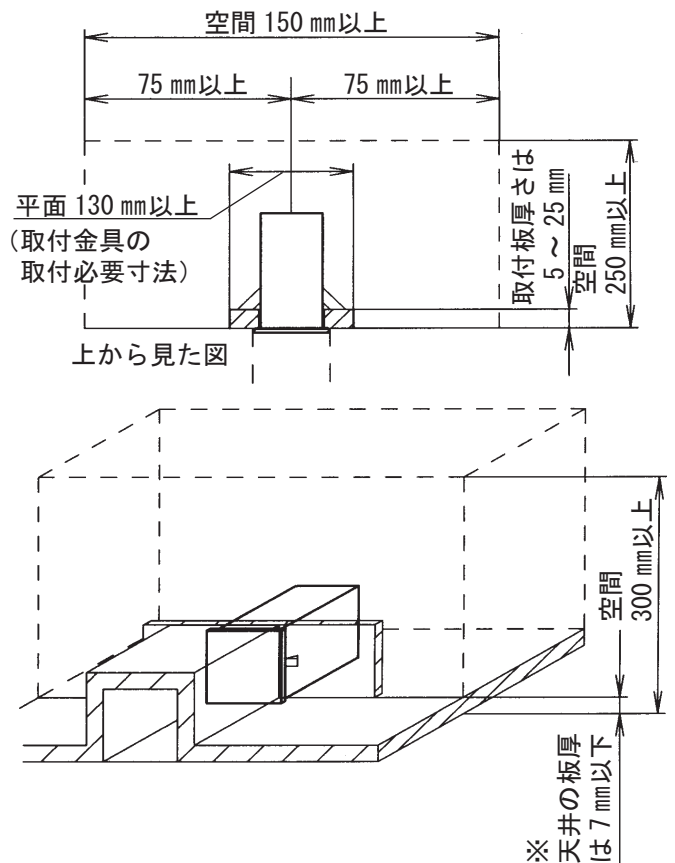
A (上向き取付) B (下向き取付)

- ・下図は上向き取り付けの場合ですが、下向き取り付けの場合も同様です。
- ・床面への埋込は禁止です。
- ・掘込が縦長の場合は、取付状態Kをご参照ください。



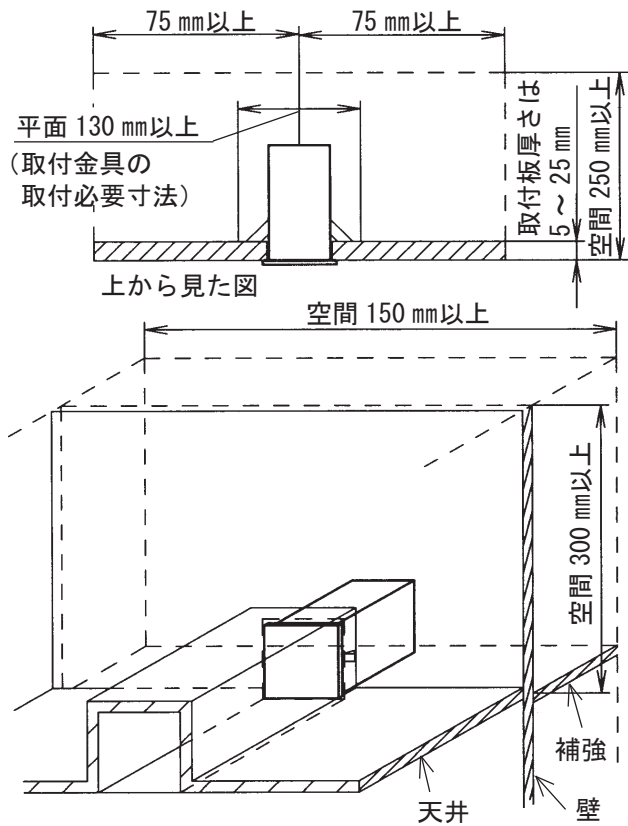
C (横向き取付)

- ・掘込が縦長の場合は、取付状態Kをご参照ください。



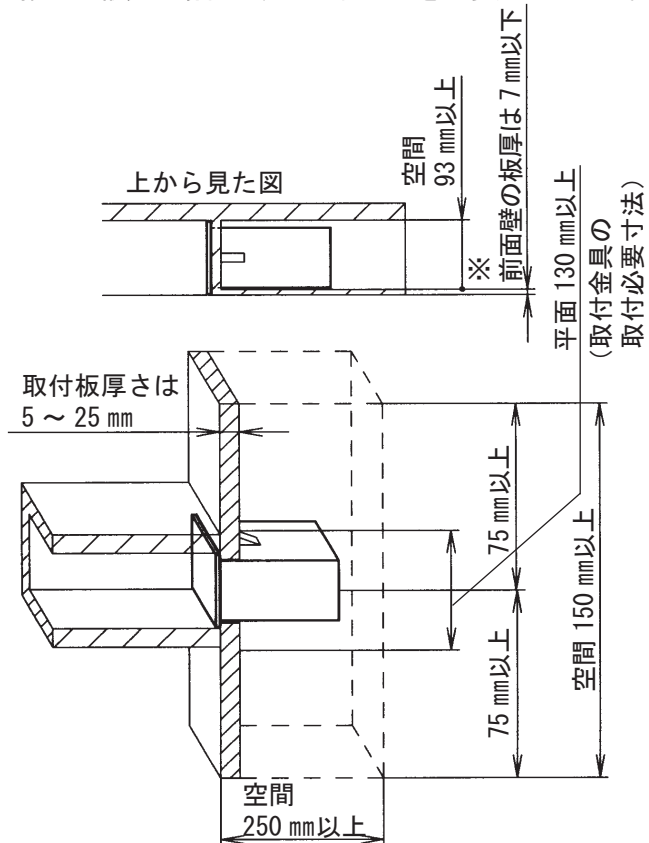
D (横向き取付)

- ・ 本体を保持するために補強が必要です。
- ・ 掘込が縦長の場合は、取付状態Kをご参照ください。



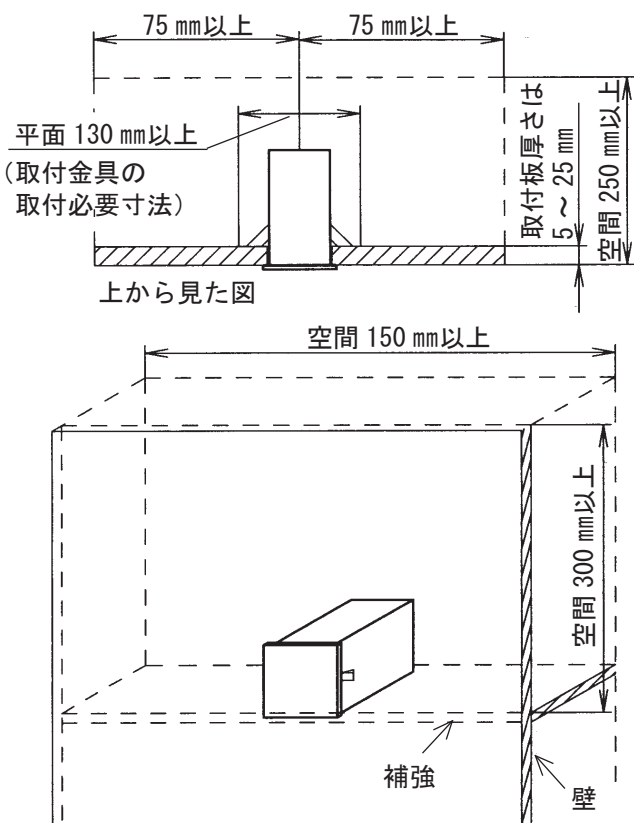
E (横向き取付)

- ・ 掘込が縦長の場合は、取付状態Kをご参照ください。

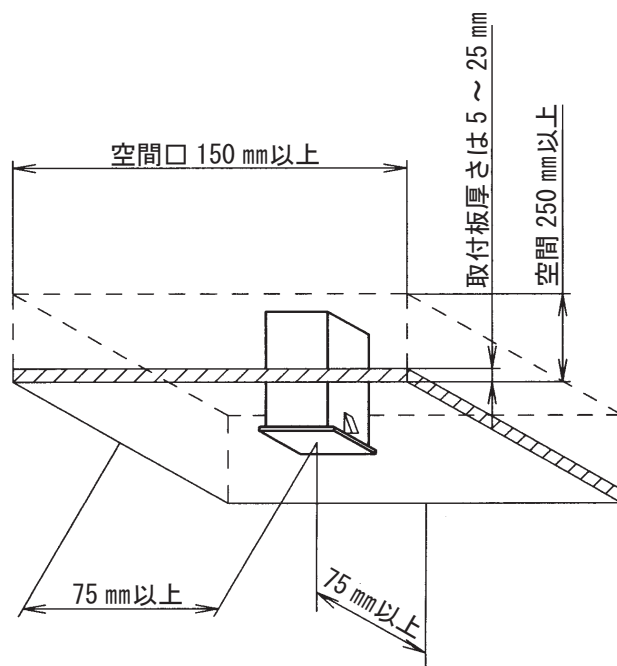


F (横向き取付)

- ・ 本体を保持するために補強が必要です。
- ・ 人が不意に当たる場所には取り付けないでください。

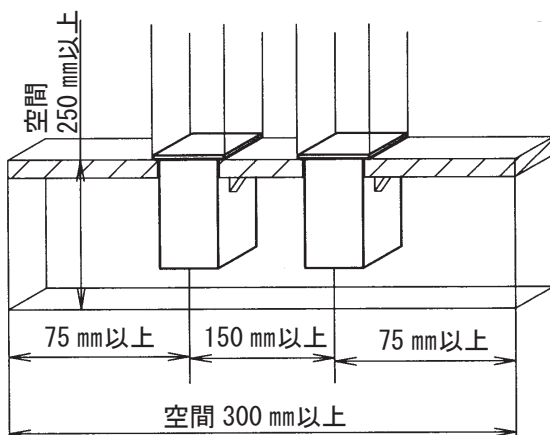


G (下向き取付)



H (2 灯近接取付)

- 掘込を並んで施工する場合は、器具間を 150 mm 以上離してください。
- 3 灯以上近接して取り付けないでください。過熱による火災の原因となります。
- 横向き取り付けの場合、2 灯近接取り付けはしないでください。過熱による火災の原因となります。
- 床面への埋込は禁止です。

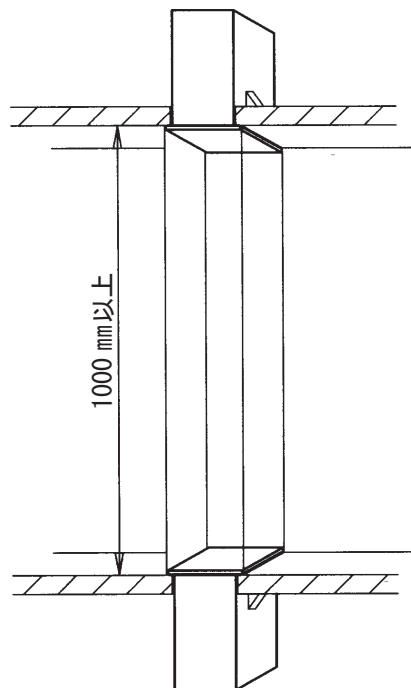


○ 上向き取付 ○ 下向き取付 ✕ 横向き取付



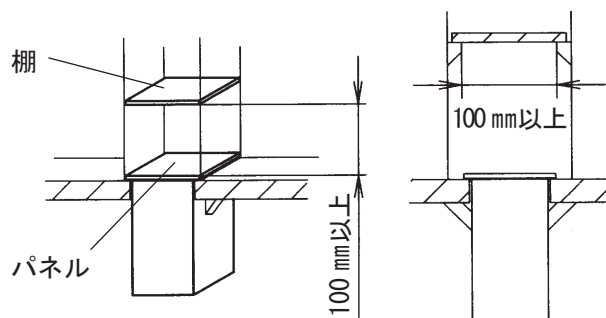
I (上下取付)

- 器具を上下に施工する場合は、器具間を 1000 mm 以上離してください。



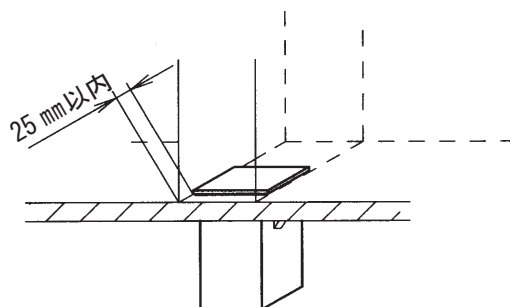
J (棚取付)

- 棚は必ず取り外しができるようにしてください。器具取り付け、LEDユニットセットの交換ができなくなります。
- 棚はパネルから 100 mm 以上離してください。



K (縦長掘込取付)

- 奥行きが長い掘込へ器具を取り付ける場合、埋込穴は掘込表面から 25 mm 以内に開けてください。25 mm を超えた場合、器具取り付け、LEDユニットセットの交換ができなくなります。



※掘込寸法 100 mm を超える場合

- 前壁面の板厚寸法は 7 mm 以上に対応できます。ただし最大 25 mm までです。

例) 前壁面の板厚 9 mm : 掘込寸法 104 mm 以上
 前壁面の板厚 12 mm : 掘込寸法 110 mm 以上
 前壁面の板厚 18 mm : 掘込寸法 122 mm 以上
 前壁面の板厚 25 mm : 掘込寸法 136 mm 以上

取り付け前のご注意

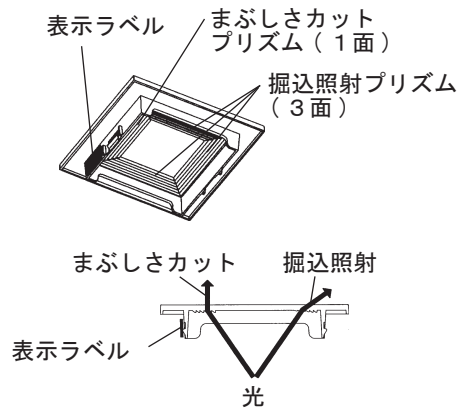
- ・ ほたるスイッチと接続する場合は器具 1 台につきスイッチ 3 個まででご使用ください。
(4 個以上のほたるスイッチと接続すると、スイッチを切にしても器具が消灯しないことがあります。)
- ・ 珪酸カルシウム板の天井に取り付ける場合は、取付金具の固定状態によって、天井と 器具の間に隙間ができ、光モレや気密性が損なわれるおそれがありますので、取付金具と天井の間に補助材(鉄板、木片など)を入れてください。
- ・ 表面に 1 mm 以上の凹凸のある天井の場合は、気密性が損なわれるおそれがありますので、平面に仕上げてください。
- ・ 器具の取り付けは、手袋など保護具を使用してください。

付属部品
(本体側面に貼り付け)

- ・ 支持バネ (1 個)



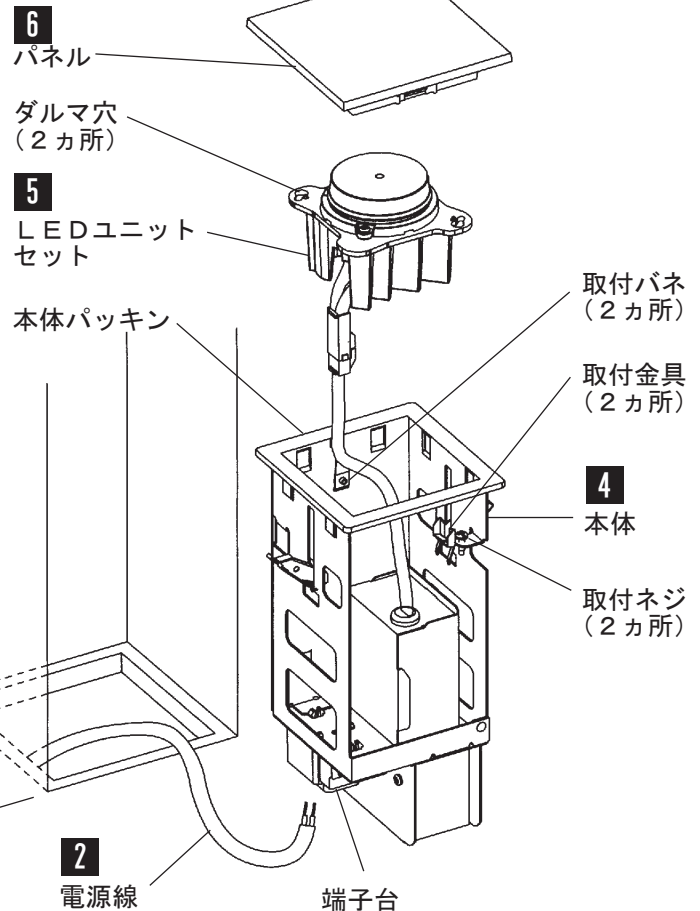
●パネル内面は変則プリズム形状(4面)です。



まぶしさカットプリズム面を手前にする
ことでまぶしさがカットされます。

※取り付け前に下図の状態にしてください。

- ・ パネル、LEDユニットセットの取り外し方は、「LEDユニットセットの交換について」— **1** **2** 参照



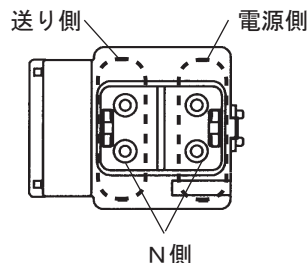
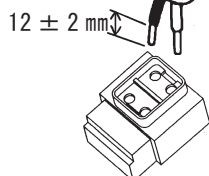
1 埋込穴・掘込寸法を確認する

- ・ 埋込穴・掘込寸法の確認は、
3・4・5 ページ「施工条件」参照

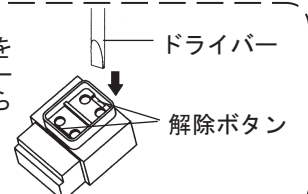
2 端子台に電源線を接続する

- ・ 端子台に電源線を確実に差し込む。
- ・ 送り総容量は 4 A 以下です。
- ・ LED 器具を送り配線する場合は、ライトコントロールの最大負荷容量かつ接続可能台数まででご使用ください。

適合電線：
φ 1.6、φ 2.0 単線
VVVF ケーブル



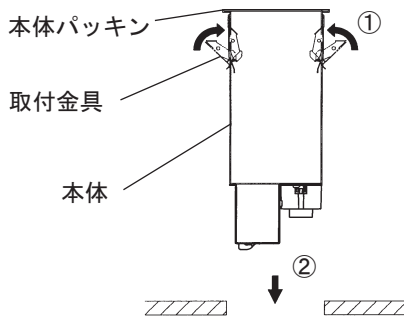
器具の取り替えなどで電源線を
外す場合はマイナスドライバー
などで解除ボタンを押しながら
電源線を引き抜く。



3 本体を埋込穴に入れる

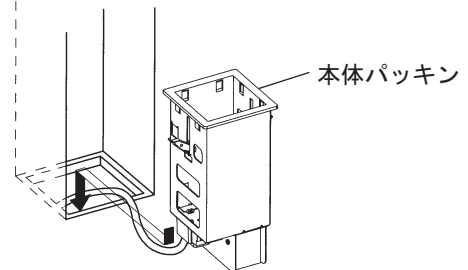
- ・ 本体パッキンが外れていないことを確認する。
- ・ 電源線を器具に挟み込まないようにする。

- ① 取付金具を本体の内側によせる。
- ② 本体を埋込穴に入れる。



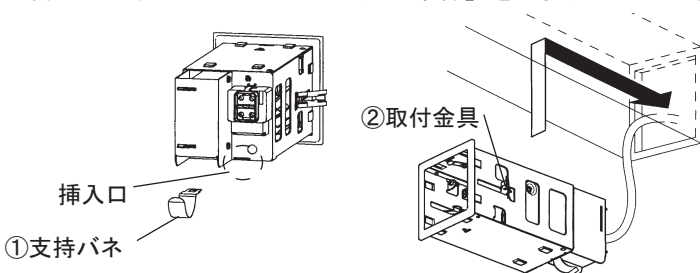
A (上向き取付) B (下向き取付) の場合

- ・ 本体を入れるとき、取付金具 (2 個) は埋込内の壁面を避けて入れる。
詳しくは、3 ページの「施工条件」をご参照ください。



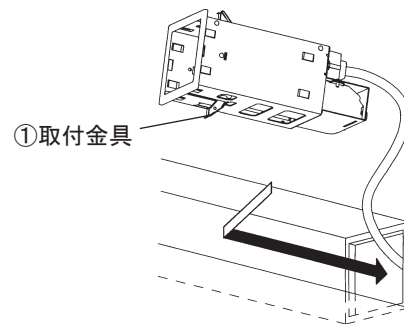
C D F (横向き取付) の場合

- ① 本体を横向きにさせたとき (取付金具水平方向) の底面挿入口に支持バネを取り付ける。
守らないと、落下によるけがのおそれがあります。
- ② 本体を入れるとき、取付金具 (2 個) は埋込内の壁面を避けて入れる。
詳しくは、3・4 ページの「施工条件」をご参照ください。



E (横向き取付) の場合

- ① 本体を入れるとき、取付金具 (2 個) は埋込内の壁面を避けて入れる。
詳しくは、4 ページの「施工条件」をご参照ください。

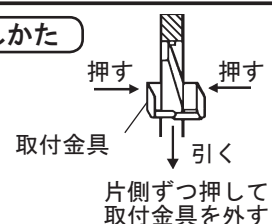


4 本体を固定する

- ① 取付金具を引いて本体を固定する。
- ② 本体パッキンを取付面全体に接触させるようにして固定する。



取付金具の外しかた



5 LEDユニットセットを取り付ける

- ・ LEDユニットセットの取り付け方は「LEDユニットの交換について」 - 7 参照

6 パネルを取り付ける

- ・ パネルの取り付け方は「LEDユニットの交換について」 - 8 参照

お手入れについて

安全のため、電源を切ってから行ってください

- 明るく安全に使用していただくため、定期的 (6 ヶ月に 1 回程度) に清掃してください。
- 汚れがひどい場合は、石けん水に浸した布をよく絞ってふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。

確認

シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、破損の原因となります。

仕様

品番は器具のラベルをご参照ください

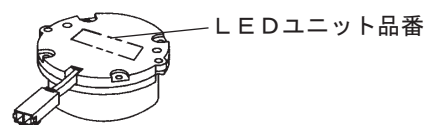
使用電圧	周波数	消費電力	入力電流
AC100V	50/60Hz 共用	8.9W	0.09A

- LED照明器具の光源寿命は、40,000 時間です。(照明器具の寿命とは異なります。)
光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の 70% に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

LEDユニットの交換について

光源に不具合が発生しても、LEDユニットだけを交換できます

- LEDユニットの品番は、LEDユニットの背面に表示しています。
- 交換用のLEDユニットは、販売店、工事店にご依頼ください。



交換方法

注) 交換作業前に、必ず電源を切ってください。

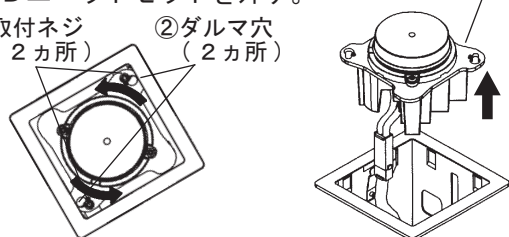
1 LEDユニットを取り外す

- ・パネルの片側側面を引き、取り外す。



2 LEDユニットセットを取り外す

- ①取付ネジ（2カ所）を緩める。
- ②LEDユニットセットを回して、ダルマ穴（2カ所）から外す。
- ③LEDユニットセットを外す。



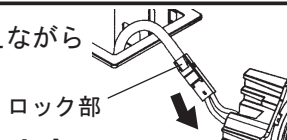
⚠ 注意



器具配線やコネクタを過度な力で引っ張らない
禁止 充電部露出による感電の原因となることがあります。

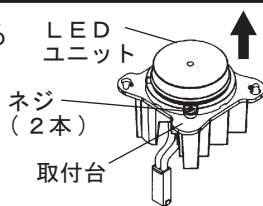
3 コネクタの接続を解除する

- ・コネクタのロック部を押さえながら接続を解除する。



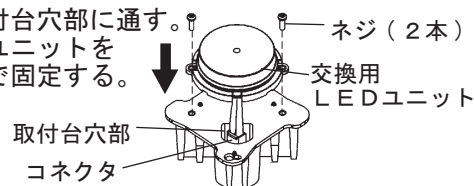
4 LEDユニットを外す

- ①LEDユニットを固定しているネジ（2本）を外す。
- ②LEDユニットを取付台から外す。



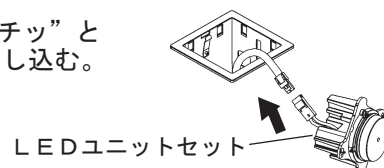
5 交換用LEDユニットを取り付ける

- ①コネクタを取付台穴部に通す。
- ②交換用LEDユニットをネジ（2本）で固定する。



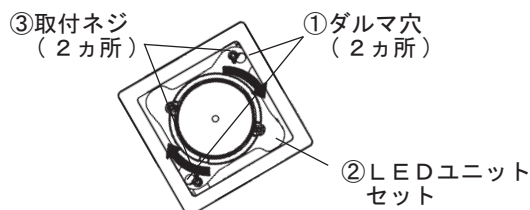
6 LEDユニットセットを接続する

- ・コネクタを”カチッ”と音がするまで差し込む。



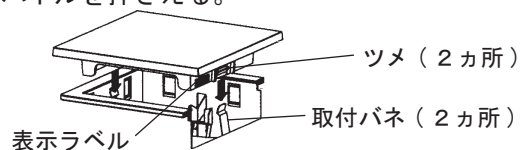
7 LEDユニットセットを取り付ける

- ①ダルマ穴（2カ所）を取付ネジ（2カ所）に合わせる。
- ②LEDユニットセットを回す。
- ③取付ネジ（2カ所）を締め付ける。



8 LEDユニットセットを取り付ける

- ・表示ラベル貼付面がまぶしさカットプリズムです。
＜掘込み施工の場合＞
表示ラベルを手前にして取り付ける。
＜掘り込み施工でない場合＞
表示ラベルをまぶしさカットしたい側に向けて取り付ける。
- ・パネルのツメ部（2カ所）を取付バネ（2カ所）に合わせてパネルを押さえる。



ご使用上に関するお知らせ

故障や異常ではありません

【器具自体の留意点】

- 器具に水がかかった場合は、すみやかに電源を切り、水をふき取ってください。
- パネルに傷つくことがあります。掃除機をかけないでください。
- LEDにはバラツキがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- LEDが点灯しない場合は、電源を切り、販売店、工事店、または、別紙お客様ご相談窓口にご相談ください。
- ライトコントロールと合わせて使用した場合、以下のような状態がありますが異常ではありません。
 - ・調光下限でチラツキが発生する場合があります。その場合は少し明るめでご使用ください。
 - ・複数灯を同時に調光した場合、消灯するタイミングや明るさにバラツキが生じる場合があります。

【周囲の影響】

- 器具の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像機器に雑音が入ることがあります。
- 器具のきわめて近くでは、リモコン機器（エアコンなど）のリモコンが動作しにくくなる場合があります。

パナソニック株式会社 ライティング機器ビジネスユニット

〒571-8686 大阪府門真市門真 1048 © Panasonic Corporation 2015

LGB50125LB1-T3A

N0715-00